

もっと教えて！！教育学部心理学系コース Q & A

★ 大学入学に関する Q & A

Q1	<p>高校の時に勉強しておくとな利な教科はありますか？ 大学入学に当たって、今からしておくべきことはありますか？ 心理学を学ぶ上で、高校での授業では何が重要ですか？ 心理学は文系ですか？理系ですか？</p>	<p>心理学では、日本だけでなく海外の研究についても勉強します。そのため英語の力は重要です。 また、心理学では、文献を読むだけではなく、実際に調査や実験をして、そのデータを分析します。そのため、数学の知識が役に立ちます。 さらに、レポートや論文を書くのは、主に、日本語です。文章表現力も大切です。 本コースでは受験科目に数学を課してはいませんが、心理学には文系的力も理系的力も必要です。</p>
Q2	<p>総合科学部にも心理学がありますが、違いは何ですか？</p>	<p>①総合科学部では、心理学に限らずさまざまな分野を学習した後、「学部2年生から心理学を専攻する」というシステムです。教育学部の本コースでは、1年生から心理学の専門分野について学ぶことができます。 ②本コースは、心理学領域の数が総合科学部よりも多いため、心理学について幅広い知識を得ることも、特定の知識についてより深い理解を目指すこともできます。また、教育や臨床現場で実践的な研究に携わっている教員も多数在籍しているため、研究と実践について探究することができます。また、公認心理師を目指す場合、教育学部の本コースには、公認心理師に関する法律で定められた全ての科目があります。学部・大学院を通じた6年一貫での公認心理師養成プログラムを設置しています。 ③臨床心理士を目指す場合、教育学部の上にある大学院教育学研究科の心理臨床学コースは、「臨床心理士養成第1種指定大学院」の認定を受けています。これは、広島大学においては、心理臨床学コースのみです。（大学院心理臨床学コースのプログラムを修了すると、公認心理師と臨床心理士の両受験資格を取得することが可能となります）</p>
Q3	<p>心理学は、将来どのようなことに役に立つのですか？</p>	<p>①まずは、「自己理解」が深まります。他者の言動や考えを勉強し、研究していくことで、結果的に、自分自身について深く知ることができます。 ②人間の行動や感情、認知について理論的あるいは科学的に理解する方法を身につけることができます。これはどの職業についたとしても、大切な観点になるはずです。</p>

★ 学部カリキュラム、大学生活に関する Q & A

Q1	<p>心理学にも多くの種類があると聞きました。どの段階でその方向性は決まりますか？ 学部では、特定の心理学のみ学ぶことはできますか？</p>	<p>本コースでは大きく7つの領域の心理学を学ぶことができます。まず、最初は、さまざまな心理学の領域をまんべんなく学んでいきます。 その過程で、自分が一番関心がある心理学分野を見つけていき、3年生の秋からは7つの領域のいずれかの心理学領域のゼミに所属することになります。それ以降は、自身の一番関心のある心理学領域で、研究を進めていくことが可能です。</p>
Q2	<p>心理学系コースを卒業すると、教員免許状を取得することができますか？ 取得は難しいですか？</p>	<p>教育学部の他のコースの科目を履修することによって教員免許をとることは可能ですが、心理学系コースが設ける授業以外にプラスで授業を取る必要があるため、その点は大変です。</p>
Q3	<p>卒業後はどのような仕事に就職できますか。</p>	<p>～企業～ マスコミ関係、金融関係、出版関係、販売関係 ～公務員～ 国家公務員、地方公務員、家庭裁判所調査官 ～進学～ 本コースでは、例年、4割～5割の学生が進学しています。公認心理師や臨床心理士を目指す学生だけではなく、心理学の研究をもっと深めたいという理由で進学を希望する学生が多いのが本コースの特徴です。</p>
Q4	<p>サークルに入ったりバイトをしたりすることは難しいですか？</p>	<p>そんなことはありません。学生のほとんどが、1年生からサークルやバイトをしています。 どのようなサークルやバイトをするかによって、勉強との両立は大変になるかもしれませんが、勉強だけではなく、さまざまなことを経験することで、楽しい4年間の大学生活を過ごしている学生がほとんどです。</p>

Q5	大学院ではどのようなことをするのですか？	<p>基本的には、大学院の主な内容は「研究」です。卒業研究をさらに深める人が多いです。 臨床心理士や公認心理師をめざしている人は、そのための勉強や高度な実技研修も併せて行います。 本コースでは、博士課程前期だけではなく、博士課程後期まで進学する学生も多いです。大学院では、研究をしたくて進学する学生を十分にサポートする環境が整っています。本コースの上にある博士課程後期を修了して、大学教員として活躍している方も大勢います！！ また、大学院の博士課程後期まで進学する場合、学部からずっと同じ領域の教員に師事をあおぐこともできれば、指導教員を変えながら、複数の心理学領域にかかわる研究を行うこともできます。</p>
----	----------------------	---

★ 臨床心理士に関する Q & A

Q1	臨床心理士になりたいです。どうすればいいですか？	<p>臨床心理士になるには、公益財団法人臨床心理士資格認定協会が課程認定をした指定大学院に進学することが必要です。指定大学院(本学大学院で言えば、「大学院博士課程前期心理臨床学コース」)を修了し、その後にある臨床心理士試験に合格すれば、臨床心理士になることが出来ます。</p>
Q2	第1種指定大学院とはなんですか？	<p>臨床心理士になるための指定大学院は、大きく分けて、「第1種」と「第2種」が存在します。 第1種の大学院を修了すれば、修了後直近の、臨床心理士資格試験を受験することが出来ます。 しかし、第2種では、修了後、1年間の実務経験を踏まえないければ、試験を受験することが出来ません。 本学大学院教育学研究科の心理学専攻は、「第1種指定大学院」に指定を受けていますので、大学院修了後、すぐに受験することが出来ます。</p>
Q3	臨床心理士の合格率はどれくらいですか？	<p>全国平均では、約6割～7割ですが、本学大学院を修了した学生の合格率は、毎年9割を超え、受験した全員が合格する年が多いです。</p>
Q4	大学を卒業して社会に出たのちに、大学院に進むことはできるのですか？	<p>できます。毎年、心理職を問わず社会で働いていた方が、大学院に入学して来られます。心理職で働いておられた方の場合は、臨床心理学的知識や援助技法のスキルアップのために学びなおしとして再入学することも考えられます。</p>

★ 公認心理師に関する Q & A

Q1	公認心理師になりたいです。どうすればいいですか？	<p>公認心理師になるには、まずは、学部で法律で定められた全ての科目(学部25科目)を履修する必要があります。学部卒業後は、大学院で法律で定められた全ての科目(10科目)を履修し、修了することで国家試験の受験資格が得られます。大学院進学以外では、学部卒業後、研修制度のある心理職の現場で2年以上の実務経験を積むことで受験資格が得られるとなっています。 本教育学部心理学系コースならびに大学院教育学研究科心理学専攻は、法律で定められた全ての科目(学部25科目、大学院10科目)を履修できます。それによって、国家試験の受験資格が得られます。公認心理師の国家試験に合格すれば、公認心理師になることができます。</p>
Q2	公認心理師の合格率はどれくらいですか？	<p>まだ試験が行われていないため、わかりません。</p>
Q3	公認心理師と臨床心理士の違いはなんですか？	<p>公認心理師は、文部科学大臣及び厚生労働大臣が行う国家試験によって与えられる国家資格です。 臨床心理士は、文部科学省認可の公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が実施する試験によって認定される民間資格です。</p>



その他の情報は、心理学教室のホームページをご参照ください。

